

4. 学習環境の整備・充実

◆現状と課題

能代市では、市民の生涯学習を支援、推進していくために生涯学習推進本部を設置し全庁体制で取り組むとともに、生涯学習推進協議会を設置して市民の声を反映した社会教育行政を進めています。さらに市民の学習活動を活発にし、生きがいを持ち充実した生活が送れるよう生涯学習の支援体制を強化していく必要があります。

生涯学習の浸透を図るため、学習の拠点施設として公民館、分館を設置し、地域に根ざした学習活動を進めるとともに、文化会館、図書館、子ども館等の社会教育施設、体育館などの社会体育施設を整備し、幼児から高齢者まで、それぞれの年代や目的に応じた学習の場を提供しています。多様化する学習内容、自主学習グループなどの増加により、学習する場の確保に苦慮する状況もみられることから、社会教育関係施設等の効率的な利活用を図る必要があります。また、文化財などの保存・展示の機能を持った施設の整備も求められています。

一方、各施設・課で様々な生涯学習関連事業を行っていますが、事業の目的を明確にし、関係課や関係機関・団体とより連携して、効果的・効率的に事業を実施していく必要があります。

情報化社会の進展に伴い、様々な場面でITが活用されており、家庭、職場等にもインターネットが普及、各施設ではホームページを整備して、タイムリーな情報提供に努めています。併せて市広報や新聞、テレビ等の情報媒体も引き続き活用していくなど、きめ細かな情報提供に努めます。

また、新たに社会教育関係施設の情報ネットワークシステムを構築し、学習情報を提供していくことが望まれます。

重点目標	施策の方向性
1. 生涯学習を効果的に推進するため、生涯学習推進体制の整備・充実を図る。	生涯学習推進本部の連携強化に努める。
	学社連携・融合での学級、講座等の充実に努める。
2. 生涯学習情報の収集・提供システムの充実を図る。	効果的な情報提供に努める
	学習相談体制の充実に努める。
	生涯学習奨励員活動の充実に努める。
3. 社会教育施設及び社会体育施設の効率的な利用及び学習環境の整備・充実を図る。	社会教育関係施設及び関係各課との連携強化に努める。
	(仮称)ふるさと文化展示館や収蔵施設の設置を検討する。
	(仮称)歴史民俗資料館や収蔵施設の設置を検討する。
	図書館の設置を検討する。(二ツ井地区)

◎…重点的に取り組む事項

○…見直しを含め取り組む事項

☆…検討事項